

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2258
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	河川維持整備事業		
根拠法令等	河川法・蒲郡市河川管理規則	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	河川・排水路
-----------------	--------

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民に対し
手 段	河川の補修・草刈等適切な維持管理をすることにより
想定する成果	水害を防ぎ、環境美化と憩の場所を提供する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績		平成15年度実績		平成16年度計画	
維持整備工事費	伐採工外	4,056千円	袋川 L=744m	3,803千円	小規模工事	6,000千円
			西田川L=275m	3,418千円		
河川管理委託業務	草刈工	9,812千円	草刈工	9,587千円	草刈工	10,000千円
管理河川総延長		49.8 Km		49.8 Km		49.8 Km

④成果指標

①

②

成果指標名	河川1km当たりの維持管理費	河川1km当たりの草刈費
成果指標の説明	事業費／管理河川総延長	草刈費／管理河川総延長

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	480
	実績	329	552	-
成果指標 ②	計画	-	-	201
	実績	197	193	-
事業費	事業費	16,370	27,494	23,900
	人件費	8,263	8,117	8,353
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	24,633	35,611	32,253
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	24,633	35,611	32,253

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	当初目標と地域要望を含めほぼ目的を達成している。
経済効率性	2	2	業務の集約化を図り、経費の縮減に努めている。
事務効率性	3	3	適切な業者指導により環境美化を図っている。
必要性	2	3	維持管理については市が実施すべき事業である。サポートとして市民参加の必要性あり。
小計	9 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	2	2	河川愛護活動において4団体2056人が除草・清掃に参加した。
合計	11 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	河川愛護活動において4団体7回延べ2056人が除草・清掃に参加したが、今後530運動・地域の清掃活動等での河川の環境美化に多数の参加が望まれる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

災害に備え緊急性・必要性に重点を置き、優先順位を決め実施した。

⑧今後改善すべき点

市民が自主的に清掃活動に参加できるような環境作りが必要。

⑨平成17年度予算に反映する項目

市民参加型を推進するにあたり、市のサポート体制を十分に作る。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2258
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	排水路整備事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	河川・排水路

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民に対し
手段	排水路を新設・改良することで
想定する成果	水害を防ぎ、環境衛生の向上、また下水道施設の補足的役割をする。

③事業の概要

項目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
排水路整備工事費	30,153千円	10,460千円	9,000千円
排水維持整備工事	10,134千円	7,496千円	11,000千円
地区要望箇所数	32箇所	23箇所	-
実施箇所数	26箇所	21箇所	-
実施設計委託料	1,397千円	0千円	950千円
工事延長	361m	253m	120m

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	1m当たりの築造工事費	地区要望実施率
成果指標の説明	排水路整備工事費／工事延長	施工実施箇所数／地区要望箇所数×100

⑤事業の進捗状況

（一般会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	75
	実績	84	41	-
成果指標 ②	計画	-	-	-
	実績	81.3%	91.3%	-
事業費	事業費	42,529	18,575	21,850
	人件費	17,352	17,046	17,541
	(人数)	2.1	2.1	2.1
	合計	59,881	35,621	39,391
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	59,881	35,621	39,391

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	地域要望が主体でほぼ目的を達成している。
経済効率性	3	3	コスト及び経費の縮減に努めている。
事務効率性	2	2	ほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	3	市が実施すべき事業である。下水道事業のサポート的役割として必要性あり。
小計	9 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	2	2	地域要望が主で事業におおむね協力的である。
合計	11 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	降雨時に排水路の越水等は、他事業関連部分を除き減少した。事業効果あり。
------	---	---	-------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

コンクリート二次製品が多種多様化され現場に対応しやすくなり、これらを使用することで工期の短縮を図った。

⑧今後改善すべき点

地元要望に対し、優先順位を決め、早期発注・早期完了に努める。

⑨平成17年度予算に反映する項目

年次計画により順次施工する。

⑩組織、人員に関する提言

職員数の減少により、人数を必要とする測量等に不都合が生じる。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2258
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	港湾整備事業		
根拠法令等	港湾法・蒲郡市倉舞港管理条例		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	港湾・海岸

②事務事業の内容

対象（受益者）	港湾利用者に対し
手 段	秩序ある整備と適正な運営をすることにより
想定する成果	適正な利用と安全性を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
総事業費	17,123 千円	20,122 千円	21,300 千円
（矢板式護岸）	（15,665千円）	（18,445千円）	（18,000千円）
護岸補修計画延長	232 m	232 m	232 m
施工延長	22 m（累積）125m	22 m（累積）147m	20 m（累積）167m

④成果指標

成果指標名	①	②
	係船護岸補修率	護岸1m当たり施工単価
成果指標の説明	施工済総延長／補修計画延長×100	矢板式護岸（工事費）／施工延長

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	72.0%
	実績	53.9%	63.4%	-
成果指標 ②	計画	-	-	900
	実績	712	838	-
事業費	事業費	17,123	20,122	21,300
	人件費	5,784	5,682	5,847
	（人数）	0.7	0.7	0.7
	合計	22,907	25,804	27,147
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	22,907	25,804	27,147

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	当初目標と地域要望も含めほぼ目的を達成している。
経済効率性	2	2	経費の縮減に努めほぼ成果をあげている。
事務効率性	3	3	十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	適正な利用のため市が実施すべき事業である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	港湾関係者による清掃活動2回、事業説明会1回が毎年行なわれ非常に協力的である。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	港湾施設の維持管理及び適正な利用が図れている。
------	---	---	-------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

現場状況を把握した適切な設計をした。

⑧今後改善すべき点

早期発注を含め、工事の施工時期の地元調整が必要である。

⑨平成17年度予算に反映する項目

年次計画に順じて行う。

⑩組織、人員に関する提言

港湾に関する専門知識を必要とするため、人材の育成と配置が必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2253
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	海岸環境整備事業		
根拠法令等	海岸法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け 基本目標

人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名 港湾・海岸
--------------------	--------------

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民に対し
手段	海岸環境を整備することで
想定する成果	公衆の海岸の適正利用と環境美化を図り憩の場所を提供する

③事業の概要

項目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
海岸維持整備工事	植栽工外	防潮扉改修工事 6,720千円	小規模工事 1,500千円
（小規模工事）	小規模 7,578千円	植栽工外（小規模）4,214千円	
海岸線維持整備	海岸線維持整備工 5,427千円	海岸線維持整備工 1,533千円	海岸線維持整備工 3,000千円
委託料	草刈工 1,615千円	草刈工 2,033千円	草刈工 1,500千円
三谷海岸緑地清掃	1,271千円	1,409千円	1,427千円
海岸線延長	28.6 Km	28.6 Km	28.6 Km

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	海岸線1km当たりの維持管理費	
成果指標の説明	事業費／海岸線延長	

⑤事業の進捗状況

		（一般会計）			（千円）
		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算	
成果指標 ①	計画	-	-	305	
	実績	689	638	-	
成果指標 ②	計画				
	実績			-	
事業費	事業費	19,719	18,249	8,728	
	人件費	9,916	9,740	10,024	
	（人数）	1.2	1.2	1.2	
	合計	29,635	27,989	18,752	
財源内訳	国	0	0	0	
	県	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	29,635	27,989	18,752	

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	地域要望も含めほぼ目的を達成している。
経済効率性	2	2	コスト縮減の精神を受け継ぎ、経費の縮減に努めている。
事務効率性	3	2	適切な業者指導により環境美化を図っている。
必要性	2	2	蒲郡市と海岸線は切り離すことができない。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	台風により漂着した流木の撤去に小中学校の参加があり、海岸清掃活動として地元市民の参加あり。
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	美しい海岸線を維持するため、市民の清掃活動や県の積極的な取組みが必要と考える。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

緊急性を重視し、優先順位をつけ実施した。

⑧今後改善すべき点

海岸清掃活動に対し、市民が意欲的に参加できる環境作りが必要である。

⑨平成17年度予算に反映する項目

市民参加型に重点を置き、市のサポート体制を確立させる。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2258
事業コード		事務事業名	土木工事業務受託事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
	受託工事

②事務事業の内容

対象（受益者）	技術職員がいない部署のために
手 段	一括して工事の設計・監督を受託することで
想定する成果	適切な施工と管理を確保し、円滑な事業進捗を達成する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事業費	76,327 千円	40,086 千円	198,876 千円
受託工事件数	49 件	41 件	22 件
うち小規模工事	37 件	32 件	7 件
受託課数	10 課	10 課	10 課

④成果指標

成果指標名	①	②
	1件当たりの平均受託工事費	小規模工事比率
成果指標の説明	事業費／受託工事件数	小規模工事件数／受託工事件数×100

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	9,040
	実績	1,558	978	-
成果指標 ②	計画	-	-	31.8%
	実績	75.5%	78.0%	-
事業費	事業費	462	350	515
	人件費	5,784	5,682	5,847
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	6,246	6,032	6,362
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	6,246	6,032	6,362

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ目的を達成している。
経済効率性	2	2	経費の縮減に努めほぼ成果をあげている。
事務効率性	2	2	測量等人数を必要とするものを除き、少人数で成果をあげている。
必要性	2	2	専門技術を要するものについて、必要性大である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	1	要望的事業も含まれ調整が必要な場合あり。
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	専門技術を要しないものは担当課で処理すべきと考えるが、設計・積算において積算・台帳システムの端末が全課にないなど問題がある。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

工事の集約・早期発注・早期完了に努めた。

⑧今後改善すべき点

飛び込み・追加工事が多い、計画的な発注ができない。担当（委託）課での計画性が必要である。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

工種の範囲が広いとため、経験と知識が必要である。人材の育成が急務である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載